いっちん子ども自然塾　　7月度活動報告

活動の目的　農作業歳時記に従って、子どもたちに年間を通じて農作業を体験し、森の草木や生きものを観察し、自然とかかわることの楽しさを味わい、自然環境の大切さを学習してもらう。

1. 開催日時　2023年7月9日（日） 10時～14時25分　曇
2. 参加人数　参加者　17名 （欠席3名）　　参加スタッフ　14名
3. 行事内容　1　農作業;畑ツアー、野菜の収穫、田んぼの草取り
　　2　農の行事;半夏生の学習、タコの燻製つくり
　　3　森の学習;田んぼの生きもの観察
4. スケジュールと活動概要

10:00-10:15	挨拶、前月の復習、今日のスケジュール説明と注意事項
10:15-11:10	畑ツアー、トウモロコシの収穫、休憩後ジャガイモの収穫
11:15-11:45	田んぼの草取り、果樹管理区の観察ツアー
11:50-12:10	タコの燻製作り
12:10-13:00	昼食、自由時間
13:00-14:15	田んぼの生きもの採集、同定と観察
14:15-14:25	今日の振り返り、次回のお知らせ。ジャガイモのお土産。

5. 活動補足と所見
- 雨予報が変わり、曇り空にて活動ができてよかった。
- ジャガイモの収穫は、子どもの力で移植コテを使う程度では容易ではなく、少し手間取った。トウモロコシは簡単にもぐことができた。早速ゆでてもらって昼食時に試食した。
- 暑熱対策を第一とし、草取りを体験を短時間にとどめたが、田んぼにも慣れてきたようで、積極的にコナギや藻類の除去に活躍し、バケツにて運び出した。
- 初めて果樹管理区に入り、クリ、カキノキやレモンの実成り状況などを観察した。
- ハンゲショウ（カタシロクサ）の観察、歳時記での半夏生の説明後、タコを串刺しにし燻製準備。いっちんスタッフが、サクラのチップで香りを付ける燻製を担当したが大成功！昼食時に試食。
- 田んぼの周りの生きもの採集は、子ども達の観察眼を活かしていろんな種の水中生物をゲットした。アメンボ、ヌマエビ、ガムシ類、カワニナ、モノアラガイ、シオカラトンボ、ケラ、カエル類などを観察し学習した。

6. 活動風景

ジャガイモ掘り

トウモロコシの収穫

田んぼの草取り

タコの燻製

昼食時に試食

果樹管理区でカキ・クリ・レモンなど観察

田んぼの生きもの採集と観察